



学校教育目標 「学び合い」 「個性」 「自立」

- | | |
|--|-----|
| (1) 生きるための基本的な生活習慣・学力を身につける生徒を育てます。 | 【知】 |
| (2) 自分のまわりの人とふれあい、お互いを大切にする心を育てます。 | 【徳】 |
| (3) 自他の生命を尊重し、健康でたくましい体を育てます。 | 【体】 |
| (4) 社会の一員として自覚をもち、自分の生き方を決められる生徒を育てます。 | 【公】 |
| (5) 体験を通して自分を豊かにし、社会の変化に柔軟に対応できる生徒を育てます。 | 【開】 |



よく光る 高嶺の星や 寒の入り 村上 鬼城

校長 佐塚 保恵

「寒の入り」とは、太陰暦を使っていた時代に、季節を表す言葉として使われていた二十四節気の「小寒」の最初の朝から「大寒」最後の日までの約3か月を表し、今年は1月6日から2月3日までとなります。「寒さの厳しい時期、冷気によって夜空も澄み渡り、光り輝く星の美しさもひとしおだなあ」というところでしょうか。私もこのところ、夜空のオリオン座を確認し、明け方には日々変化する、月と金星と木星の位置関係

とすばらしい輝きの美しさに、寒さを忘れ見入ってしまっています。年頭のご挨拶には大変遅くなりましたが、本年もどうぞよろしくお願いいたします。皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

さて、平成30年度も残すところ2か月となりました。3年生にとっては進路決定に向けての正念場を迎えています。昨年も書きましたが、自分を信じるに値する努力を続け、不安なのは自分だけではないと良い意味で開き直り、この受験というチャレンジを温かく支援してくださるすべての方に感謝して、また、万全に近い体調で試験に臨めることを心から願い、応援しています。

1・2年生の成長も著しい今日この頃です。1年生は17日、2年生は30日に行われた「百人一首大会」、少しずつ始まっている来年度の校外宿泊行事の調べ学習等、教科の枠を超え、あるいは各教科で学んだことを土台にして、自らの心持ち次第でとても有意義になる学習活動に取り組んでいます。教職員も中学校では2021年度完全実施になる新学習指導要領を意識し、移行期間に入っている今、「小中9年間の連続した学び」をブロック小学校との連携のもとに具現化するための交流や、本校内で互いの授業参観を推進する週間などを利用して授業力を高めようとすることに努力しています。生徒も教職員も「一人ひとりが『何を理解し、何ができるのか』『理解していることやできることをどう使うのか』『どのように社会とつながり、学びを人生や社会に生かそうとしていくのか』」を、学ぶ側として、教える立場として、自分の事として捉えて成長していくことが大切になってきています。大学入試が変わる、それに伴って高校も変わるという時期を進む生徒たちが、まさに『主体的に、対話的に、深く学ぶ』ことができるといいな、と思います。

ニュース等でも猛威が報道されているインフルエンザ・・・本校も、閉鎖とまではいきませんが、学級によっては授業を途中で打ち切るという手立てをとっています。ご家庭にもご協力いただきました。ありがとうございました。まだまだ子どもで正直なので、早帰りするクラスで「ゲームするんだ。ラッキー!」という声が聞こえたり、「うちのクラスはどうなんだ!？」と保健室にいる人数をのぞき込んだりも、ありがちなこととは思いますが、高熱やひどい咳に苦しむ友を思えば、心無い言動と残念になります。新たな罹患者がおり、今しばらく注意が必要だと思われます。うがい・手洗い・まめな(1時間に1回くらい)水分(水やお茶)補給・マスク着用などで、対抗してまいりましょう。31日は夜、雪が降る予報が出ています。初雪(先日ちょっと小雪が舞いましたから初雪ではない?)がちょうどよいおしめりとなってくれますようにと祈ります。

<緑区個別支援学級作品展> 1月11日~18日

緑区中学校合同作品展について

3年 戸田 凌輔

1月18日に、緑区役所へ作品展を見に行きました。僕は、アシュラの切り絵とクロスステッチで土偶のデザイン、スウェーデン刺繍をしたアルバムカバーを展示しました。アシュラの切り絵は、切ったギリギリのところに、折り紙を貼って、色付けするのが大変でした。クロスステッチは、土偶やハニワなど、僕の好きなデザインを刺繍できたので、とても楽しかったです。

他の中学校の作品には、板金やアクアピースの作品があり、とてもすごいと思いました。作品作りで、感じたことは、気持ちをこめてつくと良い作品になることです。



<1年生百人一首大会>



田奈中学校の新春恒例の行事である百人一首大会。各学年約300人が一堂に会して体育館で行われるこの大会。クラス対抗で争う大会ですので、国語の時間や学活等の時間を使って、各クラスが十分に練習をして大会に臨むため、本番では非常に盛り上がります。学年が上がるほど、札を取るスピードも速くなり、本番ではより白熱した試合が展開されます。まずは1月17日、1年生の大会から今年度の百人一首大会がスタートしました。1年生は、国語係が廊下に掲示物を作成してくれたり、授業で配られたプリントを覚えたりするなど、休み時間等も使って覚えていました。得意な生徒のスピードに圧倒されている生徒、「あの札だけは・・・」と狙いを定めている生徒等、熱い戦いが体育館の中で繰り広げられました。結果は、2位が4クラスと大接戦でした。集中した真剣な表情、身を乗り出して札を取る姿、札を取った後にふとこぼれるほほえみ…。どれも素敵なものです。これをきっかけにこれからも百人一首、古典に関心を持つ生徒が増えることを期待しています。

なお2年生は、1月30日(水)に開催しました。3年生は特別時間割の中で行われます。また2月25日(月)と28日(木)には、渡辺令恵(ふみえ)永世クイーンを招き、全学年有志による個人戦を行い、平成最後の『田奈中かるた王』が決まります。生徒はふるって参加をしてください。



(1学年結果)

1位 4組

2位 1組・2組

3組・8組



<ユニセフ募金 福祉委員会> 1月16日~18日

福祉委員会では、年に2回募金活動を行っています。今回は、その2回目として登校時間に昇降口前で呼びかけをしました。より多くの協力を得るために、募金活動があることを事前にポスターやお昼の放送、各クラスで連絡しました。

当日はたくさんの協力が得られ、やりがいを感じながら取り組むことができました。

今回の募金額の合計は、21,356円でした。

皆様、ご協力いただき、たいへんありがとうございました。



<横浜市個別支援学級合同学芸会> 1月23日

最後の合同学芸会 3年 伊藤 勇斗

1月23日に、西公会堂で横浜市個別支援合同学芸会が行われました。田奈中は「ワールドオーダー」のダンスと「EXILE PRIDO」の曲にあわせて、組体操とダンスの演技を発表しました。

僕は、開会式とプログラム1~9番の司会も担当しました。

練習では、ダンスも組体操も全体のみとまとまりがなく、完成が見えてきませんでした。でも、練習をしていくうちに、動きや気持ちがそろうようになり、全体がまとまってきました。

しかし、リハーサルの日、僕は、風邪をひいてしまい、出られませんでした。本番当日は、何とか体調がもどり、病み上がりでしたが、頑張っ、みんなと一緒に参加することができました。



司会の役割では、自分の体調が悪く、途中でぬけてしまい、担当していたところができず、とても悔しい思いをしました。

演技では、待っている間、とても緊張しましたが、はじまったら、「成功させてやる！」という気持ちが出てきました。

そして、最後まで、失敗しないで終わることができました。

学芸会で学んだことは、気持ちひとつでがんばれる、ということです。